

働くことの大切さ

11月に入り、めっきり涼しくなりました。今月は、運動会を控えており、子どもたちのモチベーションが高まっています。

さて、子どもたちに、「11月23日は、何の日ですか。」と尋ねると、子どもたちの多くは、口ごもってしまいます。

11月23日、**勤労感謝の日**は、「勤労を尊び、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」という趣旨の元、1948年に国民の祝日として制定されました。働くことの大切さ、働くことの素晴らしさを認め合い、感謝し合う日だと言えます。

学校教育においては、**勤労生産活動**という教育活動があり、清掃や給食当番、係活動等、働くことを通して、子どもたちの豊かな心の育成を図る取組が日常的に行われています。

特に最上級生である6年生は、朝の活動や委員会活動を通して、働くことの意義を学んでいます。正門近くや校庭を掃き掃除したり、掲示物を新しくしたり、植物の世話やビオトープの草抜きをしたり、給食をコンテナを各学年に分けて運ぶの手伝ったり、給食時間に「お昼の放送」や行事のアナウンスをして全校児童にお知らせしたり、保健室や図書館での活動を頑張ったり、体育館の開け閉めをして、体育学習をスムーズに行えるようにする等、さまざまな仕事を頑張っています。これらは、全て、6年生の皆さんによる働きであり、とても学校生活を送るうえで重要なものになっています。

ちなみに、はごろも小学校では、11月22日に「ありがとう集会」を実施します。この行事も豊かな心の育成を図る取組の一つです。

さて、それぞれのご家庭においても、働くことの大切さをより深く理解させる指導として、お手伝いを習慣づけることが効果的です。発達段階に応じて、お父さんやお母さんのちょっとしたお使いや頼み事、食事の配膳や皿洗い、新聞を新聞受けまで取りに行くこと等、いろいろなお手伝いを分担させることで、子どもたちは、仕事、働くということの意味を理解していきます。

人として、働くことの楽しさや面白さもある一方で、大変さやつらさを感じることもあるでしょう。

いずれ大人になるお子さんの成長へ向けた取組の一つとして、ぜひ、日々の家庭生活・学校生活の中にある働くことを意識して、将来、自分の目指す職業につなげていってほしいと思います。



朝の清掃活動を頑張る
6年生10/10 2018

地域協働学校（コミュニティ・スクール）の本格始動！

10月12日、地域連携室で学校運営協議会が開催され、宜野湾市教育委員会教育長の知念春美様より、協議会委員の委嘱状交付が行われました。辞令交付に引き続き、会長・副会長の役員選出が行われ、以下の両氏が満場一致で承認されました。

会長：伊差川正美氏（真志喜区自治会長）

副会長：嘉味田朝紀氏（前はごろも小PTA会長・現真志喜中PTA会長）



はごろも小学校運営協議会
委員委嘱状交付 10/12 2018

祝 伊佐禎一郎さん 秋の叙勲受章



10月13日の新聞に「第31回危険業務従事者叙勲」の県内受章者34名のお一人として、伊佐禎一郎さんが紹介されました。この叙勲は、警察官や自衛官、消防関係者等、危険性が高い業務に尽力した職業の方々を対象とするものです。伊佐禎一郎さんは、退職後も真志喜中学校のPTA活動や安全指導、大山区老人会前会長として地域活に貢献されています。また、はごろも小学校においては、開校当時より毎朝、正門近くで児童の安全立哨にご尽力頂いております。

はごろも小学校は、今年度より地域協働学校（コミュニティ・スクール）に指定されました。「地域の子どもを地域で守る」信念を持ってはごろもっ子の安全指導にご尽力頂いております伊佐さんの地道な活動は、まさにコミュニティ・スクールの趣旨を踏まえた取組です。伊佐禎一郎さん、叙勲受章おめでとうございます。

はごろも

学校通信八号（平成三十年度）

平成三十年
十一月
二日
発行 校長 仲村 宗男

通録20号



ビオトープだより6号↑
ができました。m(_ _)m
(作：保護者・比嘉直子さん)
ホームページに掲載して
おりますのでご覧下さい。

十一月の行事
文化の日
地震・津波避難訓練
市内小中將棋大会
運動会
市内小中將棋大会
沖縄県Web実力テスト
沖縄県Web実力テスト
勤労感謝の日
沖縄県小学校社会科研究大会
（四校時授業
十二時五十分下校）

